

1 地域スポーツについて

①花巻市スポーツ少年団本部の現状

◎登録団数、団員数、指導者数の推移

※別紙、登録数の推移を参照願います。

- ・各スポーツ少年団とも少子化に伴い団員の減少が見られる。

◎課題

○下記理由から、もっと団数が減っていく可能性がある。

- ・各スポーツ少年団の指導者がJ S P O公認コーチングアシスタント資格への移行することとなり、登録費が増大するため。
- ・現在は、認定指導員資格取得に3,000円程度、スポ少年登録料は1,200円のみ。
- ・移行後は、初期登録料3,000円と資格登録料10,000円 4年間に1度の更新研修の受講と登録料10,000円のほか、別途、スポ少年登録料は1,200円。

◎スポ少本部に登録するメリット

- ・大会に出るため。(スポ登録を条件としている大会があるから)
 - ・スポ少本部に登録すると施設使用料が減免になる施設があるから
- ※上記に合致しない小学生チームは、スポ少本部登録はしていない。

②総合型地域スポーツクラブの見通しと課題

●以下、各総合型地域スポーツクラブの意見

◎一般財団法人花巻市体育協会

○見通し

- ・今後、総合型地域スポーツクラブ登録・認証に向けて取り組む。

○課題

- ・花巻市における、総合型地域スポーツクラブ(登録・認証)の団体とのネットワークの組織づくりを考えていきたい。

◎特定非営利活動法人 Sum はなまき

○見通し

- ・下記の事柄が進捗できないようであれば、縮小、解散の方向が妥当であると感じている。

(toto 助成については、平成 29 年度で終了)

○課題

- ・企業として提案、発信ができていない。
 - …コーディネーショントレーニングの普及
 - …スポーツ、文化交流の場や機会の創出
 - …新しい枠組み(年代、地域、民間、公共機関や団体等へ)の提案
- ・世の中が求めるニーズを把握できていない。

◎一般社団法人結学舎 花巻総合型地域スポーツクラブ Northern Rise

○見通し

- ・現在の新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ教室、委託事業の大部分が休止している状況。
- ・上記に伴い、収入が激減。4月の収入は前年度の10%に落ち込む。
- ・当クラブはスポーツ教室のみならず、インクルーシブスポーツ推進事業や部活動のあり方の検討などスポーツを通じた社会課題解決事業を展開している。今後もそのニーズは拡大していくと考えている。
- ・総合型スポーツクラブ単体としての事業活動には限界があり、花巻市や一般財団法人花巻市体育協会等との連携した事業実施が必要。今後とも連携した事業実施及びスポーツ施設等の管理補助等を行いながら住民のニーズに合った事業展開を計画している。

○課題

- ・花巻市には後援事業として認めていただき支援をいただいているが、インクルーシブスポーツ推進事業や部活動のあり方など部署を横断するような課題に関しては、市において連携が図られていない部分も見られるため、協働が図られていない部分がある。
- ・スポーツ振興事業実施における拠点がないことから、一般のスポーツ団体と同じように場所を確保しなければならず、継続した事業実施が困難なところもある。
- ・当団体は、令和2年度 toto 助成金や岩手いきいき支援財団の助成金を活用しながら事業を行う予定であるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により TOTO の売り上げ減少などにより来年度以降の助成金の活用は難しいと考えている。当団体は生涯学習や地域づくりのノウハウもあることから、拠点づくりも含めた来年度以降の財源確保について、スポーツ施設の管理補助やスポーツ施設以外の公的施設の管理等についても花巻市ほか関係機関に働きかけを行っていききたい。
- ・toto 助成金は、令和5年度まで。(1か月 70,000 円程の人件費のみを助成)

●総合型地域スポーツクラブに共通する課題

○会員数の不足

- ・都会とは違い、会費を払ってクラブに所属し、運動を続けていくといった感覚が無い。
- ・スポーツは無料でできる、指導者も無料で教えに来てくれるという感覚が強い。
- ・人がいない。

○資金の確保ができない。

- ・toto 助成が無くなると同時に、事業もできなくなる。
- ・会員が少ないため、資金が回らない。

※人材の雇用が継続できない。

○指導者

- ・指導者は、少しだけの謝礼のみで教えており、生活できるくらいのレベルでは無い。